

授業改善への取り組み

本校では、昨年度から2年間をかけて、市研究指定校として「言語活動の充実を通して教科のねらいを達成する授業」をテーマに、研究に取り組みました。

生徒にとってさらにやる気の出る授業を、そして、「確かな学力」をはぐくむ授業の一層の充実を目指して、今年度も外部から講師をお招きして、30時間を超える研究授業を実施しました。

現在は、2年間の総括を行っているところです。学力に関する各種調査、アンケートの数値は、2年前より大きく改善され、研究の成果が確かめられましたが、今後もさらなる授業改善を目指し、研修を重ねていきます。

田無第一中学校



数学科研究授業の様子

地域の教育力を活用した「英検講座」

明保中学校では、毎週水曜日を「放課後学習」の日として、希望生徒を対象に、国語・数学・英語の補習や個別指導に取り組んでいます。

本年度からは「英検講座」を開設しました。

講師は、「英語検定」の指導者として長年携わっている方です。年3回実施される「英語検定」向け「4級・5級」と「3級・準2級」の2講座を、生徒の実力に応じて開設しています。講座内容は、「英検1次(筆記)対策」と「1次合格者対象の2次(面接)対策」です。今年度は3回の英語検定に向け「英検講座」を20回以上実施しました。毎回受講者や受験者が増加して、生徒の学ぶ意欲が向上しています。

明保中学校



放課後学習「英検講座」の様子

自分の未来を見つめよう

本校では、キャリア教育の一環として、毎年6年生の総合的な学習の時間において「生き方学習」を行っています。

地域の福祉団体・機関で仕事をしている方々を講師とした出前講座の実施と職業体験活動を通して、勤労と地域を愛する心、社会に参画する意欲を育てる教育を行っています。

いろいろな仕事に従事している方々との交流の中で、自分たちの未来を見つめ、仕事に対する姿勢や、よりよく生きる上での考え方・行動の仕方などを学ぶ機会となっています。

向台小学校



幼稚園での職場体験

K(くぬぎ)組の取り組み

平成22年5月7日、本市初めての中学校通級指導学級が本校に開設しました。現在5名の通級生徒が市内各校から本校に通っています。

K組では、作品製作や栽培体験などの協働学習を通じた「自立活動」と、国語や数学、英語などの「教科の補充」を中心に、個別指導計画に基づき個々の発達段階に応じた支援体制を2名の専任教員を中心に指導しています。平成23年度からは生徒数も倍増し、教員の指導体制も増強します。

今年度は、「東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画」も策定されました。田無第二中学校では特別支援教育も今後一層充実させてまいります。

田無第二中学校



K組開級記念式典



授業の様子



栽培体験で行った緑のカーテン

だれもがイキイキ



一人ひとりの考えを生かし、学び合う児童の育成

本校では算数科の校内研究に取り組んできました。全学級、問題解決型の授業を進める中で「既習事項の活用」と「話し合いの工夫」の2点を重視してきました。

その結果、課題提示、ヒントカード、既習事項の掲示などで、児童は習ったことを思い出しながら課題解決の糸口を見つけて、さまざまな表現方法でノートに自分の考えを書けるようになりました。

また、全体場で出された考えの共通点・相違点などを見つける話し合いを深めたことで、それぞれの考えのよさを発見したり、よりよい解決方法を見つけたりすることができました。そこには児童が互いに学び合う姿が確実に見られました。

住吉小学校



掲示板的に集まって、既習事項の確認をしています。

地域とともに食育を進めています

本校の特色ある教育活動は、「食育の充実」と「地域と連携した体験活動」が挙げられます。

3年生は学区内の農園の協力で梨の栽培体験をしています。花粉づけ、摘果、袋かけ、収穫をします。大きな梨を収穫した子どもたちは、食材の大切さを大いに実感できました。また、麦の栽培やみそ作りにも挑戦しました。

5年生は新潟の農家の方の協力で、稲の栽培をしました。6年生は今年度、豆腐屋さんの協力を得て国産大豆での豆腐づくりに挑戦しました。

6年間の食育を通して、生産者への感謝の気持ちも大切に育てています。

栄小学校



3年生 梨の収穫体験

訂正

2月15日号3面掲載の「平成22年度西東京市教育委員会表彰被表彰者一覧」中、被表彰者の「所属等」の記載に一部誤りがありました。

おわびして訂正します。

氏名	所属等(正)	所属等(誤)
山口 正男	元学校歯科医	元学校医
黒川 満	元学校歯科医	元学校医
千原 嘉斉	元学校歯科医	元学校医

(敬称略)

交通安全の意識向上を目指して

本校の学区内は、朝夕の通勤時間を中心に、抜け道として多くの自動車がスクールゾーン内を往来しています。そこで、東京都安全教育推進校として都が開発した、歩行者安全教育システムを使って授業を行いました。パソコンとプロジェクターとで、スクリーンに車や町並みを映し出します。映像を見ながら模擬横断歩道を渡りますが、児童には車の速度を変えた時、カーブで車が見えにくい時、急に路上へ飛び出した時の3例を体験させてみました。「いつも左右を必ず確認して道路を渡る。」「大丈夫と思っても、もう一度確かめる。」等の感想がたくさん出ました。参加者も100人以上となりました。

保谷第一小学校



歩行者安全教育システムを使った授業の様子